



昭和大学
SHOWA University

—昭和大学歯科病院の理念—

患者本位の医療
先進的医療の推進
医療人の育成

発行責任者 病院長 榎 宏太郎
編集責任者 広報委員長 長谷川 篤司
〒145-8515 東京都大田区北千束2-1-1

TEL 03-3787-1151(代表)
いちいちごいち

ホームページ: <https://www.showa-u.ac.jp/SUHD/index.html>

歯の色について

保存修復科 准教授 小林 幹宏

2022年に日本歯科医師会が全国の15歳から79歳の男女10,000人を対象に実施した“歯科医療に関する一般生活者意識調査”に「歯や口の中の悩みは何ですか?」という質問がありました。回答で最も多かったのが、10代から30代は「歯の色」、40代から70代は「ものが挟まる」に次いで「歯の色」という結果でした。2022年頃から当院では「マスクを外す前に歯を綺麗にしたい」と歯のクリーニングやホワイトニング、前歯の治療を希望して来院される患者さんが増加し、多くの方が口元の美しさに関心をお持ちだと実感しました。

歯の着色の原因は数多くあり、コーヒーやお茶、カレーなど着色の原因となる飲食物は食卓に溢れています。そのような飲食物の摂取を控えた方が良いのかという質問を受けることがあります。歯の着色を気にして過度な飲食制限をするのではなく、食事を楽しみながら、お家での正しいセルフケアと歯科医院での定期的なプロフェッショナルケアを受けることで良い状態を保つことができます。

歯の着色除去だけではなく、さらにご自身の歯そのものの色を白くしたい場合や加齢による歯の変色は、“歯のホワイトニング”をおすすめしております。



過酸化物を成分とする薬剤を使用し、歯を削ることなく歯を白くする方法です。

白く美しい歯はポジティブなイメージや清潔感をもたらし、実際に歯のホワイトニングをされた患者さんは「自信が持てた」「大きな口を開けて笑えるようになった」とお話される方も少なくありません。また、歯が白く美しくなったことでお口の中への関心がさらに高まりセルフケアのモチベーションの向上に繋がる方も多いです。

歯の色や口元の印象についてお悩みの方はぜひご相談ください。



- P1 巻頭言 歯の色について
- P2 診療科紹介 保存修復科
- P3 新入職員 ご挨拶
- P4 歯の衛生週間、節電、編集後記

記事見出しの色分けをいたしました。

患者さん向け、 医療機関向け、 お知らせなど

診療科紹介：保存修復科

保存修復科 診療科長補佐・講師 新妻 由衣子

2024年4月より「美容歯科」から「保存修復科」へと診療科名が変わりました。

診療科名は変わりましたが診療体制や治療内容は今までと変わりません。今まで通りむし歯治療や審美修復治療を中心に、「より侵襲の少ない治療」と「機能・構造・形態・色調の調和が保たれた審美性の高い修復治療」を臨床理念とし、日々診療を行っております。

ここでは、保存修復科で行っている治療を2つご紹介したいと思います。

【う蝕（むし歯）予防コース】

現在のむし歯治療のゴールドスタンダードは、自身のむし歯リスクをしっかりと把握した上で予防と管理を徹底し、むし歯になっても可能な限り侵襲性の少ない治療を行うミニマルインターベンション（MI）という概念に基づいた治療です。う蝕予防コースは、むし歯リスクの検査を行い、患者さん各々のむし歯のリスクを理解した上で、口腔衛生指導、クリーニング、フッ化物塗布、ホームケアの提案を行い口腔内環境の改善をしていく治療です。むし歯を予防したい方、今までむし歯治療を数多く行ってきた方、ご自身の口腔内の状態を把握したい方におすすめのコースです。

【One Day Treatment】

CAD/CAMシステムというデジタル機器を用いて、むし歯の除去からセラミックの詰め物の装着までを1日で完了する治療です。仮蓋や仮歯の期間を過ごすことなく治療を終了することが可能です。

（これら2つの治療は保険外診療になります）



One Day Treatmentにてセラミックの詰め物を装着した症例



CAD/CAMシステム

（左：デジタル機器による型取り 右：詰め物の設計）

「保存修復科」として、今後もみなさまの口腔内の健康の維持と向上、そしてより美しい口元を提供できるよう努力してまいります。むし歯のご相談、金属の詰め物を白い材料に変えたいというご相談や、歯の色や形についてのご相談などがございましたら保存修復科までお越しく下さい。



保存修復科スタッフ

新入職員 ご挨拶

本年4月より矯正歯科助教（歯科）として入職いたしました小林理香です。大学院時代には、口腔周囲筋に対する機能評価の重要性に着目し、超音波診断を用いた臨床研究を行っていました。現在当科では基礎および臨床のいずれの研究においても数々のチームが生まれ、継続した研究を行える環境が整っております。より質の高い医療を提供できるよう今後も研究を進めていきたいと考えております。

入局6年目となり臨床では難しい症例を任されることが増えてきました。包括的な治療ができる矯正医を目指し、更なる技術向上に努めます。教育においては、後輩の未来の可能性を広げられるよう精一杯努力してまいります。どうぞ宜しくお願いいたします。

矯正歯科 助教（歯科） 小林 理香

本年4月より昭和大学歯科病院補綴歯科に入局いたしました横井匠です。当講座教授である馬場教授のもと大学院博士課程を修了し本年度より入局いたしました。

補綴とは歯が欠けたり失った場合にかぶせ物や入れ歯などの人工物で補うことを言います。補綴歯科では「すべての欠損歯列の患者さんが少ない負担で補綴治療の恩恵を享受できる診療科」を目指しており、私も微力ながら患者さまのより良い暮らしに貢献できるよう日々努力していく所存です。なにかお困りごとがございましたらお気軽に補綴歯科へご相談ください。

補綴歯科 助教（歯科） 横井 匠

初めまして。大学院を修了し、4月から歯内治療科で勤務しております三木優と申します。

歯科用実体顕微鏡を用いて、目視では難しい複雑な根管（歯の根）に対して精密な治療を行うことで、患者さんの痛みを取り除き1本でも多くの歯を残せるよう、日々尽力しています。

職場には高い専門性を目指して臨床に励む先生や、教育、研究に勤しむ先生方もおり、さまざまな面で知識や技術を磨く機会に恵まれ、刺激のある毎日を送っています。今後社会に貢献できる歯科医師となるため、日々精進していく所存でございます。よろしくお願い申し上げます。

歯内治療科 助教（歯科） 三木 優

本年4月より歯科麻酔科に入局した今村早希と申します。

歯科麻酔科では、手術や歯科治療を受ける患者さんに対して全身麻酔や静脈内鎮静法を行っております。また、全身疾患をお持ちの方やご高齢の方に対しては、血圧などのモニタリングを行い、安全に歯科治療を受けていただけるよう努めています。

私は生まれも育ちも九州ですが、当院の豊富な麻酔管理症例に魅力を感じ、この度入局することになりました。皆さんが安心して治療を受けられるよう、日々精進してまいりますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

歯科麻酔科 助教（歯科） 今村 早希

歯の衛生週間

歯科衛生室 歯科衛生士 高澤 友里

6月4日から6月10日は歯と口の健康週間です。今年の標語は「**歯を見せて 笑える今を 未来にも**」です。

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）も昨年から5類となり、マスクを外して過ごす機会も増えてきました。マスクを常につけていた時には気にならなかった歯や口元を気になり始めた方も多いのではないのでしょうか。

歯を健康に保つことだけでなく、しっかりと噛んで飲み込める口腔機能を維持することは

全身の健康にもつながります。いつまでも、大切な方と美味しい食事を摂り、楽しく笑顔で過ごすために改めて「歯と口の健康について」一緒に考えてみませんか？

当院ではお口の状態に合わせた歯磨き方法の提案や、専門的な機器を使用した検査やクリーニングなどを実施し皆様の健康をサポートしております。詳しくは歯科医師や歯科衛生士にお気軽にお尋ねください。



日本歯科医師会ホームページより



歯科衛生士による歯磨き指導の様子

クールビズを5月1日（水）より実施しています

事務課管理係

昭和大学は、全施設一丸となって節電対策に取り組んでおります。

当院でも2024年5月1日（水）よりクールビズを実施しています。気温に合わせた柔軟

な服装（ノーネクタイ・ノージャケット等）で就労いたします。皆様のご理解、ご協力をお願いいたします。

事務課管理係

編集後記

職員の皆様方はG.Wいかがお過ごしでしたでしょうか。旅行や帰省をされた方も多かったのではないかと思います。暑くなったり、肌寒くなったりと気温がなかなか安定しない時期ですので、体調管理には気を付けたい今日この頃ですね。

それでは皆様、ご自愛専一で頑張りましょう。

(H・M)

